



鶏 鳴

2010年1月10日(第32号)

イエスの言葉

『人々はわたしのことを何者だと言っているか』

聖書(マルコ福音書8章27節)

牧師 河合裕志

イエスが弟子達とフィリポ・カイサリア地方の村々に出かけた時の話し。この所はヨルダン川の水源近く、白雪を頂くヘルモン山の山麓に広がるあたり。多産の神パンを祭る聖所があったりヘロデ大王の建てた皇帝を祭る神殿が見られる。

こんな遠くに弟子達を引率したイエスの意図は何? それははっきりとはわからないけど何やら重要なことを教えるためだった。やがて一行は小休止をとる。互いに汗をぬぐい水がのどをうるおした時イエスは一つの問を發した。「人々はわたしのことを何者だと言っているか」。シーン。いきなりの質問に一同静まりかえったがやがてポツリポツリ答えが出てきた。

「洗礼者ヨハネだと言っています。ほかにエリヤだと言う人も、預言者の一人だと言う人もいます」。ヨハネは首を切られてすでに死んでいるのでその再来ということ、エリヤは紀元前9世紀の昔の人、やはりその再来かということ。ヨハネもエリヤも偉大な人だったのでイエスはこれに匹敵するということ、かなり高い評価。預言者の一人というの。

これを聞いてイエスはニコツとした。それは嬉しいということよりイエスの予想と同じだったから。それで次にイエスはもう

一回質問した。「それではあなたがたはわたしを何者だと言うのか」。ソラ来た。これが一番にイエスの聞きたいところ。他の人々はいざ知らず、これまで寝食を共にして来た肝腎カナメのあんた達はどう見ているかな。シーン。風が吹き抜けて行く。

やがてペトロが重い口を切った。「あなたは、メシアです」。よくぞ言ったもの。まさに凶星正解。何百年の間人々が待っていたメシア(ヘブライ語。ギリシャ語ではキリスト)がついにこの人なんだ、と真正面から言い切った。さすがペトロさん。

これを聞いてイエスはまたニコツとほほえんだがすぐに厳しい表情になり「このことを誰にも話さないように」と弟子達を強く戒め口止めに。なぜ? それは多分今はまだそれは大っぴらにする時ではない、やがて十字架につけられ復活してから大いにメシア・キリストである私を宣伝してくださいということだった。なぜってその時分には多くのニセのメシアがいたから。圧政者ローマを倒せと叫ぶ自称メシアがいてそのたんびに流血沙汰を起こしていたから。イエスはそうでなく十字架にかかる道を選択。人の罪を自ら背負って。こんなメシアってある? ある、それがイエス。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分
 子どもの教会 : 毎日曜日午前9時
 中高校生会 : 毎日曜日礼拝後
 婦人会・壮年会 : 第2日曜日礼拝後
 聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時
 オリーブの会(読書会) : 第3月曜日午前10時